

久保田城跡黒門跡発掘調査報告



秋田市教育委員会
文化振興課
秋田城跡調査事務所

久保田城跡黒門跡発掘調査報告

1. 調査の概要

秋田市都市開発部公園建設課の依頼により、久保田城跡黒門跡における発掘調査を実施した。

調査は平成4年11月26日から12月11日まで行い、発掘調査面積は60m²である。

調査対象の黒門は、秋田藩主佐竹氏の居城、久保田城跡内の門跡である。近世城郭である久保田城跡は周知の遺跡となっている。黒門は久保田城跡の南西、三ノ丸から二ノ丸に至る途中の門であり、三ノ丸と二ノ丸を隔てる内堀にかかる唐金橋をわたった場所に位置している。大手門から本丸に至る正式な登城ルート上に位置する主要な門の一つである。

調査地は現在の千秋公園の一画、秋田市立佐竹資料館北側、東側の県道方面から公園への入口に位置しており、現在も歩道として利用されている。

2. 調査内容について

調査は黒門跡周辺、南北両側の土塁跡に挟まれた通路部分及び門跡両側の土塁下部石垣直下の段状部分を調査範囲とした。また、現在歩道通路として利用されているアスファルト道路部分を除き、東西方向に長い形で調査区を設定して調査を実施した。

調査地基本層序は、上層より 砂利・暗褐色土層(表土・10～15cm)、黄褐色粘土層(整地層・20～50cm)、黒色土層(腐植土・旧地表表土・10～20cm)、明黄褐色粘土層(地山粘土層)となっていた。は近世築城以前の旧地表面、は近世築城段階の整地層と考えられる。表土下は、門跡より西側の通路斜面上方のみ の整地層が認められ、門跡西側が 黒色土層腐植土面、門跡より東側の斜面下方は 明黄褐色地山粘土層面となっていた。

砂利混じりの表土直下の ～ 層面が近世の遺構存在面となっていた。

調査の結果、遺構として現存の礎石4基を確認し、礎石抜き取り跡2基、柱痕跡2基、橋脚掘り方2基、溝跡1条を新たに検出した。調査区中央で検出された東西方向の溝跡は、近現代の排水溝または暗渠跡の可能性がある。また、他に近現代の攪乱として通路の砂止め石跡を3箇所確認した。

現存の礎石4基のうち、調査地中央の現通路面上で南北に2基確認された礎石については、南側礎石据え方(掘り方)のプランや断面から、ほぼ当初の位置にあり明確に黒門に伴う遺構と判断された。

土塁下部石垣直下の段状部分西端、南北両側にそれぞれ1基確認された切石の礎石については、土層断面の観察等より、近現代に現位置に据えられた可能性が高く、当初位置ではなく後に移動して据えられた黒門に伴う礎石であるかについても検討を要すると考えられた。また、門跡両側の土塁下部石垣についても、南側のコンクリートによる基部補強改修の状況から、土塁の一部を含め近代以降の改修により形状等が変化している可能性が高いと判断された。

礎石抜き取り跡としては、調査地中央の南側現存礎石の東西に各1基、計2基が検出された。ともに抜き取りにより不正形のプランを呈しており、当初の据え方(掘り方)のプランは明確ではない

が、その位置関係や土層断面観察から黒門に伴う遺構と判断された。また、北側土塁下部石垣直下の段状部分東端でも礎石抜き取り跡となる可能性のある掘り込みの一部を検出したが、石垣の下となっており詳細を確認できなかった。

北側土塁下部石垣直下の段状部分で検出された柱痕跡2基については、近世遺構の可能性が有るものの、黒門建物に直接関係する遺構か、土塁と黒門間の構造物に関係する遺構かは明確でないといえる。

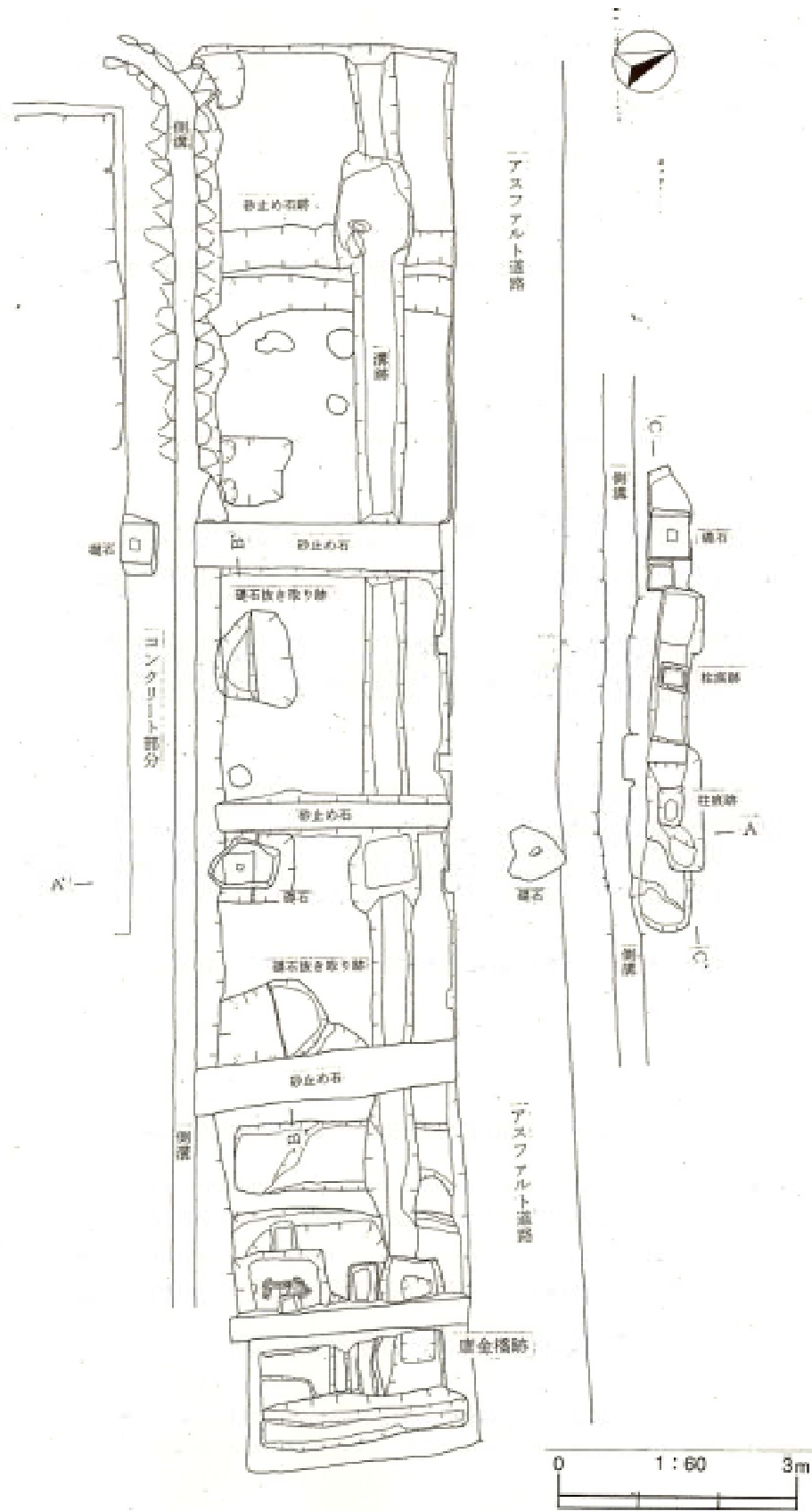
調査地東端部の唐金橋跡付近では、橋脚掘り方と思われる掘り込みを2基検出した。南側の1基からは底部より礎盤状の板類を検出した。また、2基とも掘り方の中間程で東西方向(橋桁方向)に横木材の痕跡が確認された。橋脚に伴う基礎構造の一部、または橋桁構造の一部となる可能性が考えられた。

以上の検出遺構から、黒門に関係する遺構として、調査地中央の現通路面で南北に2基確認された礎石と、南側現存礎石の東西に各1基の礎石抜き取り跡が確認された。その位置関係から、東西方向の通路東側を正面とし、梁間(東西)2間、桁行(南北)2間以上、四脚門以上の建物構造が把握される。建物の規模は、門の中央桁行(南北方向)、棟通りの柱間は3.8m、南側梁間(東西方向)の柱間は東中央桁行を基準として、東より2.1m+2.4mとなる。

黒門については、絵図等では二層の八脚門として描かれているが、今回の調査では四脚門以上の構造を把握するにとどまった。門基本構造の確認のためには、改めて門跡南北両側の土塁及び下部石垣周辺部分の発掘調査が必要と考えられる。

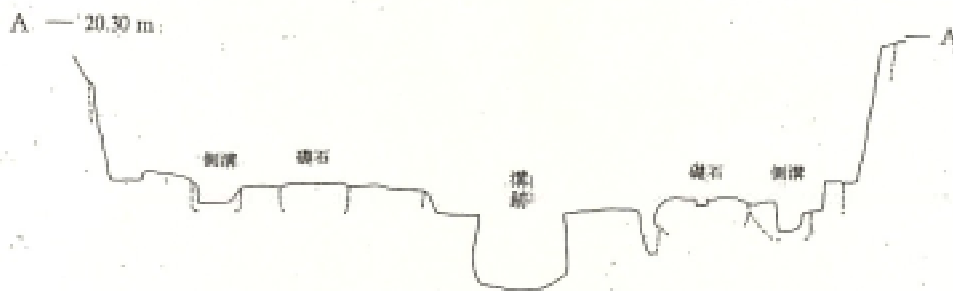
3. 調査結果

調査の結果、黒門跡の遺構が確認され、四脚門以上の構造が確認された。また、唐金橋の遺構の一部も確認された。しかし、黒門跡については、調査区の制約等により未調査部分が存在したこともあり、さらに検討、調査を要する部分も多いことが判明した。詳細かつ正確な門の構造把握のためには、未調査部分(アスファルト道路部分、南北両側の土塁及び下部石垣周辺部分)の追加調査が必要と考えられる。また、唐金橋についても、詳細かつ正確な構造把握のためには、土橋部分の追加調査が必要と考えられる。

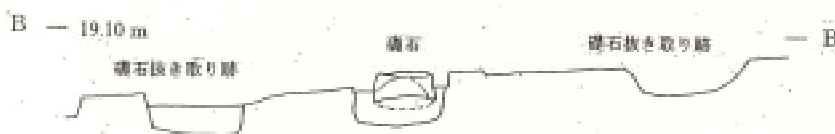


調査地平面図

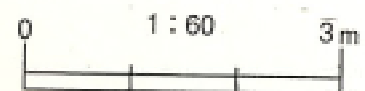
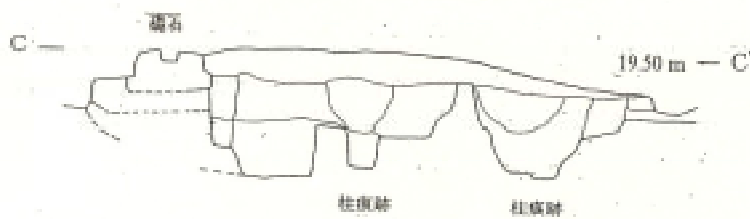
桁行中央（礎石現存部分）南北方向 エレベーション図



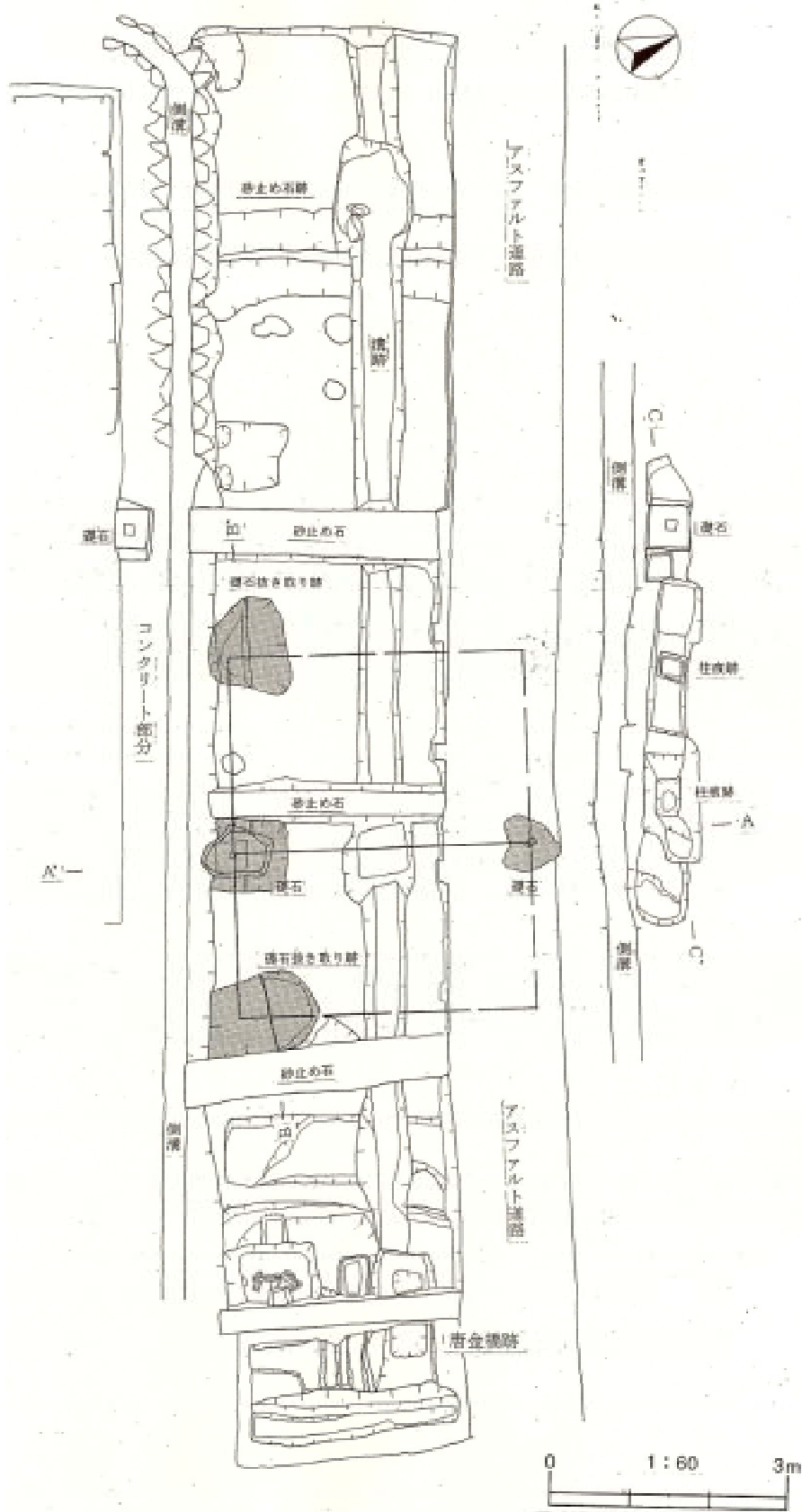
梁間（礎石現存部分・礎石抜き取り部分）東西方向 土層断面図



北側土壁跡（土堀石垣直下部分）東西方向 土層断面図



黒門跡遺構エレベーション図・土層断面図

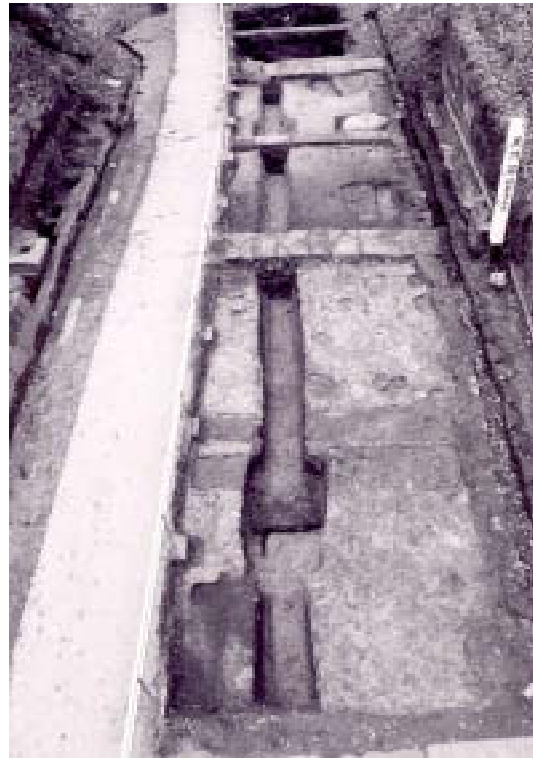


黒門跡建物柱位置関係図

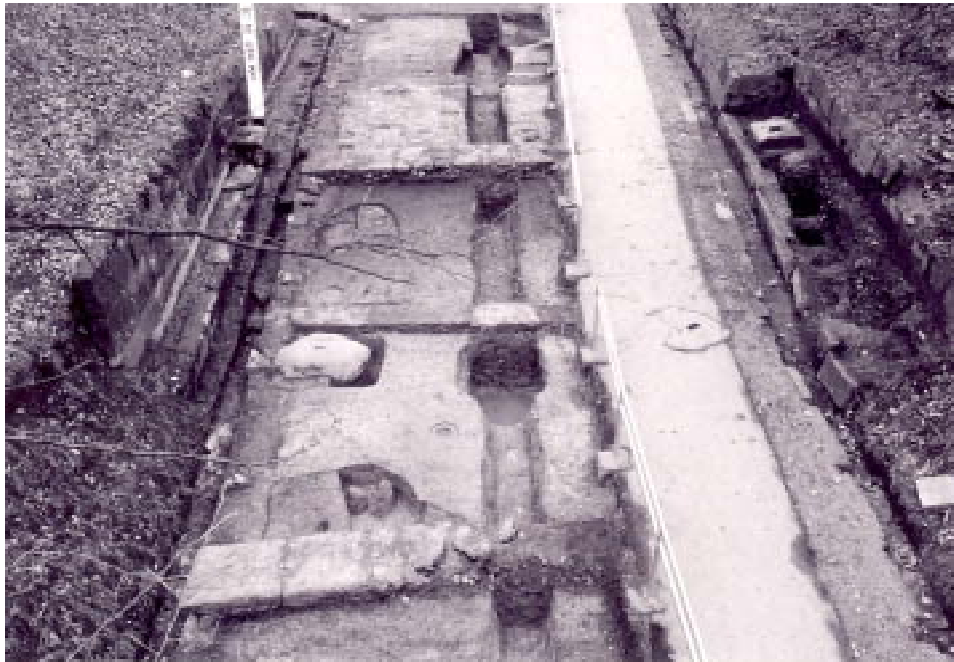
【調査地全景(東から)】



【調査地全景(西から)】



【黒門跡遺構(東から)】



黒門跡

【礎石及び礎石抜き取り跡検出状況(南から)】



【礎石抜き取り跡土層断面(南から)】



【礎石据え方土層断面(北から)】



【礎石抜き取り跡土層断面(北から)】



【北側土塁下部石垣直下
段状部分 完掘状況(西から)】



【北側土塁下部石垣直下
段状部分 完掘状況(南東から)】



【東側柱痕跡土層断面(南から)】



【中央柱痕跡土層断面(南から)】



【西側切り石礎石据え方土層断面(南から)】



唐金橋

【調査地東側唐金橋跡遺構(東から)】



【唐金橋跡橋脚掘り方完掘状況(南から)】



【唐金橋跡橋脚掘り方底部(北から)】



【唐金橋跡橋脚掘り方土層断面(西から)】



【調査地土層断面(北西から)】

